

令和7年度多文化共生推進員企画事業について

①市長と外国人市民の車座トーク

日本に在住する外国籍の方々は選挙権がないため、ある意味で社会の中で弱い立場にあるという意識を持つ人が多く、自分たちの声は行政や社会には届かないと感じている人も少なくありません。そのため、日々の生活に追われ、積極的に社会参加をする機会を持たない方も多いのが現状です。

そんな中、犬山市長の「選挙権がなくても、皆さんは大切な犬山市民です！」という言葉は、多くの外国人市民の心に力強く響き、この言葉の想いを大切に、今後も外国人市民が日本社会の一員としてより深く関わるような事業やイベントを考えていきたいと思います。

また、ホスト社会（受け入れ側）も多様性を尊重し、ともに支え合う体制を整えていけるよう、多様性社会推進課としても引き続き力を入れていきたいです。

日程：令和7年8月29日

参加者：6名（ベトナム1人、中国1人、ペルー2人、ブラジル2人）



②スポーツ多文化交流イベント

このイベントは、国籍や年齢に関係なく、みんなで運動を楽しみながら交流する場です。

- 子どもから大人まで、どなたでも参加OK！
- 女性の参加も大歓迎です！
- 午前中は、子供向けに初心者でも安心して楽しめる、簡単なゲームから始めます。
- 午後は、サッカーの試合をします。

スポーツを通じて、お互いの文化を知り合い、尊重し合いながら、楽しくつながるきっかけを作りましょう。

日程：令和8年3月8日

場所：羽黒中央公園多目的スポーツ広場（エナジーサポートアリーナ）

※イベントの詳しい内容は、後日犬山市の多言語Facebookページにアップしますので、ぜひご覧ください。

③多文化理解事業

今年度の実施は見送ることになりました。

